

1. 学びのサポート

子どもたちが主体的に学習を進めていくことができるように、学習の進め方や説明のしかたなどを取り上げました。また、一人ひとりがしっかりと学習に取り組めるように、見やすく読みやすい紙面にしました。

主体的な学びのために

1時間の授業を充実させるために、巻頭に授業展開のモデルを掲載し、その後に、それを実践する場面を設けました。子どもたちが授業に積極的に参加することで、算数科における思考力・判断力・表現力が向上していきます。

■ 学習に取り組む態度を身につける

「わくわく算数学習」は、各学年の巻頭「学習の進め方」の展開に沿って、話しあいや説明のしかたなどのモデルを示しています。各学年の早い時期に設定することで、これから1年間の学習に取り組む態度を養います。

2年上 p.14-15

学びを いがそう みんなで つくろう! わくわく算数学しゅう

1 どんな もんだいがな たいせつ ○学習の めあてを もちましよう。

1 を 右のように ならべました。

は 何こ ありますか。

何を もとめる もんだいですか。

1こずつ 数えるのも いいですね。ほかの もとめ方も 考えて みましよう。

図を かいても いいと 思います。

ひなた ぜんぶの の 数を もとめる もんだいです。

だいち は 13こ あります。1こずつ 数えました。

ひなた いろいろな もとめ方を しきに かいて みます。

めあて の 数の もとめ方を 図や しきに かいて 考えよう。

2 自分で 考えよう たいせつ ○考えた ことを わかりやすく かきましよう。

⑦ 自分の 考えを 図や しきに かいて みましよう。

しき

しき

たての まとまりで 考えて みると……

だいち

よこの まとまりで 考えて みると……

ひなた

ほかの もとめ方も 考えて みましよう。

算数資料集

「わかりやすく説明しよう」(22ページ参照)、「わくわく算数ノート」(22ページ参照)、「算数でよく使う考え方」(20ページ参照)などの学びをサポートする資料をオプションに掲載しました。

学習の進め方

子どもたちの積極的な授業参加を促す1時間の授業のモデルを各学年の巻頭で提示しました。これを1つの指標として、学習内容に応じて創意工夫した学習を進めることができます。

2年上 p.4-5

1 学しゅうの すずめ方

1 どんな もんだいかな

「もんだい」を しらべよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。

2 自分で 考えよう

「もんだい」を しらべよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。

3 みんなで 話しあおう

「もんだい」を しらべよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。

4 たしかめよう

「もんだい」を しらべよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。

5 ふりかえろう

「もんだい」を しらべよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。

2年上 p.16-17

3 みんなで 話しあおう

「もんだい」を しらべよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。

4 たしかめよう

「もんだい」を しらべよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。

5 ふりかえろう

「もんだい」を しらべよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。
 「もんだい」は 何を 求めよう。

2年上 p.138

算数しりょうしゅう わかりやすく せつめいしよう

自分の 考えをつたえる ときには、聞いている 人に わかりやすく せつめいしよう。

わかりやすい表現

授業が円滑に進むように、文章、図、写真などの表現方法を見直し、従来より読みやすく理解しやすい紙面にしました。

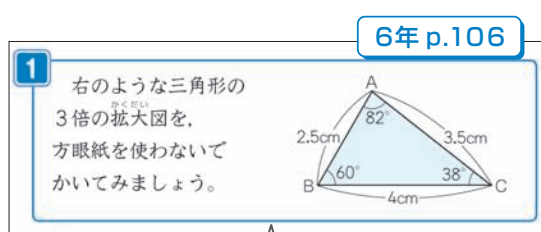
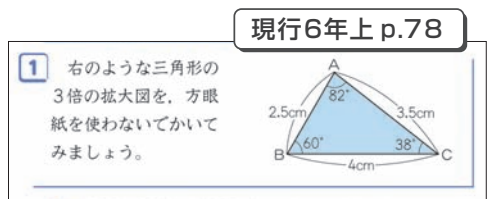
■ 道具の使い方

コンパスで円をかくなどの道具を使う場面では、その使い方を手順を追って写真で丁寧に示しました。



■ 読みやすい文章

問題文や説明文などの文章を読みやすくするために、意味の区切りで改行したり、当該学年以上で学習する漢字には見開き毎にルビを付けたりしています。



問題文を囲んでわかりやすくしました。



絵と文章をよみとる必要がありましたが、...



文章で表現することで理解しやすくなりました。

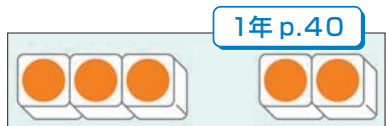
■ 特別支援教育やインクルーシブ教育への配慮

特別支援教育の専門家の先生監修のもと、特別支援教育やインクルーシブ教育に配慮して、読みやすく理解しやすい紙面にしました。

■ CUD (カラーユニバーサルデザイン)

色彩については、色覚の個人差を問わずに取り組むことができるよう配慮しています。色だけで判断する問題は扱わず、見分けることが困難な配色は避けています。

数図ブロックの色を赤から橙に変更しました。

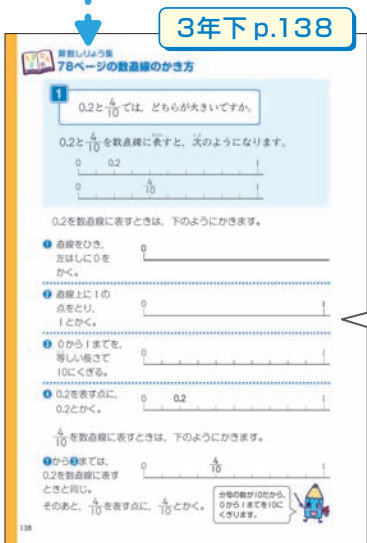


個への対応(習熟度別学習, 少人数学習への対応)

子どもたちの興味・関心や進捗等に応じて、柔軟に扱うことができる教材を用意しました。習熟度別学習や少人数学習にも対応しています。

■ 発見! 算数島 (オプション)

補充・発展の問題や本編の練習問題、学習の際に役立つ資料で構成しています。また、配当時間に含めないことをページ端の橙色の帯で示しています。



図のかき方

図のかき方をスモールステップで丁寧に示し、子ども自身で図を使って考えることができるようにしています。

■ 個への対応

本文では、進捗に応じて学習していくことができるように、練習問題を色分けするなどして対応しています。(9ページ参照)

やってみよう

学習したことを活用する問題を用意しました。



もっと練習

繰り返し練習できる問題を用意しました。

